



菊池市家庭教育通信 令和3年度第3号

R3.9.3

～幼児期は手をはなさず～(子育て四訓より)

片づけのしつけ

私は整理収納アドバイザーの資格を持っていて時々「うちの子は片付けができません。どうしたらいいですか」と聞かれる事があります。そこで2つのコツを紹介します。

1. オモチャの整理

- ・子どもさんに、毎日使うオモチャ(1軍)を選ばせ棚や引き出しに並べます。その時、取り出しやすいように重ならない方がいいですね。
- ・時々使うオモチャ(2軍)も選ばせ、箱などに入れ、近くの押し入れなどに収納します。
- ・普段遊ばないオモチャ(3軍)は、ダンボールなどに入れます。中の物がわかるように箱に名前を書きましょう。物置などに収納。
- ・1軍2軍3軍とも、スペースは増やさないようにします。1軍が1つ増えたら、別の1つが2軍行きです。3軍がいっぱいになったら、どれかを処分。それも子どもさん自身に決めさせます。判断力、決断力が育ちますよ。

2. 片づけのタイミング

- ・帰って来た時 バッグの中身を出し、元の位置に戻すよう教えます。初めは一緒にやる、自分でできたら○をつける等工夫しましょう。習慣になると学校に行くようになってからも安心です。
- ・片づけを始める時間 遊び始める前に片づけを始める時間を子どもさんと決めておきましょう。例えば「7時には夕ご飯を食べるから、長い針が10になったら手を洗ってお箸並べを手伝って欲しいの。お片づけは長い針がいくつになったら始める？」という感じです。時間になってから「片づけて」と言うより心構えができます。数字がわからない時は、「そろそろ9になるよ」と声をかけましょう。時間の観念が育ちますし、数字も覚えます。

ふれあい

信頼している人同士が触れあうと、「お互いに愛情ホルモンが出る」と聞いた事があると思います。小さい時はなるべく、抱っこしたり、手や頭などを触ったりしてあげましょう。手足が触れ合うような遊びをしたり、お互いにマッサージをしあったりするのもいいですよ。コロナ禍の今、他人との触れ合いが少なくなっている分、家族との触れ合いは、より重要になってきています。

とは言っても、弟や妹がいるとなかなか触れ合う時間が取れない事もあります。そんな時は、たまには下の子を他の家族に頼んで、1対1で遊んだり、手を繋いだり、抱っこやおんぶをする時間を作りましょう。そんな特別な時間が、子どもの心を安定させ親の愛情を感じる良い機会になります。

触れ合いは、基本的に小学生までです。たとえ親でも、思春期の子どもにやたらと触れるのは控えた方がいいでしょうし、早い子は10歳くらいから、触られるのを嫌がる事もありますから、今のうちに、触れ合っておく事は大切です。

ですが、子どもによっては幼児でも触られるのを好まない場合もありますので、そんな時は、笑顔や優しい眼差し、言葉などで愛情を伝えるといいでしょう。

触れ合いや笑顔、言葉かけを通して、子どもたちにいっぱい愛情が伝わっていくといいなと思います。

家庭教育支援員 清田智子
菊池市教育委員会 生涯学習課
TEL 25-7232